

市民建産常任委員会報告書

令和 4 年 6 月 8 日
委員長 古賀 誠視

市民建産常任委員会に議会閉会中の調査事項として付託を受けておりました事項について、調査の概要を報告いたします。調査に際し、令和 4 年 5 月 11 日、5 月 12 日に関係部課長等の出席を求め委員会を開催いたしました。

市民部

環境課

環境整備係から、環境基本計画等の策定、ぐりんぐりん古賀（環境市民会議）の主な事業、地球温暖化に関する取組、生物多様性に関する取組、環境教育の推進に関する事業、飼い主のいない猫に関する取組、狂犬病予防接種の報告がありました。

資源循環推進係から、循環型社会形成推進に関する講座やイベント、分別収集困りごと講座、ラブアース・クリーンアップ 2022in 古賀の報告がありました。

海津木苑から、令和 3 年度海津木苑処理実績、海津木苑施設等啓発、汚泥再生処理センター整備事業の報告がありました。

委員から、アライグマ防除実施計画での講習会の開催はいつ頃か、受講料や受講修了後に修了証等の発行はあるのか、との問いに、受講料は現在発生する予定はない。修了証等の発行については検討しているとのこと。

アライグマの発生原因は、との問いに、自然発生ではなく、ペットが逃げだして繁殖を繰り返し、県内に広がっているとのこと。

令和 4 年度の 1 日一人当たりの家庭系ごみ排出量の目標と目標達成に向けた具体的な計画は、との問いに、令和 4 年度は具体的な目標設定をしていないが、第 2 次古賀市ごみ処理基本計画の中では令和 5 年度の 1 人一日当たりの家庭系ごみ処理量は 405 グラムの目標設定がある。今年度から第 3 次古賀市ごみ処理基本計画を策定予定で、その中に目標値や目標を達成するための取組の進め方も整理をしていくとのこと。

市民国保課

市民係から、令和 4 年 3 月末現在の人口、外国人国籍別人口、住民基本台帳人口異動内訳、個人番号カード交付枚数、コンビニ交付サービス利用実績の報告がありました。

国保係から、国民健康保険世帯数等、新型コロナウイルス感染症の影響による保険税減免、保険税改定に関する被保険者へのお知らせの報告がありました。

年金・医療係から、国民年金加入者数、後期高齢者医療被保険者数、重度障がい者医療受給者数、ひとり親家庭等医療受給者数、子ども医療受給者数の報告がありました。

委員から、個人番号カードの交付率の全国平均は何%か、保険証とのひもづけの状況と取扱医療機関、被保険者への周知の方法は、との問いに、4 月 1 日時点、全国での交付率が 43.3%、4 月 20 日時点で国保加入者の 922 人が保険証とのひもづけの手続きをしている。個人番号カードを保険証として利用できる医療機関は、4 月 24 日時点で病院、診療所が合わせて 14 か所、薬局が 9 か所。被保険者への周知は、保険証や納付書を発送する際に個人番号カードを健康保険証として

利用できるというパンフレットを同封し、案内している。また市公式ホームページにも掲載しているとのこと。

人権センター

人権教育・啓発係から、令和4年度の主な事業、第42回古賀市同和問題を考える市民のつどい、令和3年度事業実績の報告がありました。

男女共同参画・多様性推進係から、令和4年度の主な事業、男女共同参画フォーラム2022の報告がありました。

性の多様性尊重事業についてはパートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の都市間相互利用に関して、現在、鹿児島市との協定締結準備を行っており、協定締結日は6月6日との報告がありました。

委員から、新型コロナの問題などによる女性や子ども、働く人などの相談内容の傾向は、との問いに、そうだん5（ファイブ）、人権センター職員への相談では家庭の問題が一番多いとのこと。

解決の方法として、どのような関係機関へ紹介しているのか、またどのように解決方法をサポートしているのか、との問いに、傾聴し、専門の相談所や無料弁護士相談などを紹介しながら解決に繋げているとのこと。

人権センターで把握している生理用品の使用の状況や傾向、今後の考えは、との問いに、昨年の12月から隣保館、リーパスプラザこがの交流館、図書館、歴史資料館等のトイレ、また全小中学校の女子トイレに生理用品を設置して、かなりの個数が使用されていることから、女性特有の不安を抱えている人に行き渡っていると考えている。一定の成果があり、今後も新たな設置場所など検討していくとのこと。

収納管理課

収納管理係から、令和4年度の主な事業、令和3年度の市税・国民健康保険税・後期高齢者医療保険料・介護保険料の収納状況、令和3年度の滞納処分状況の報告がありました。

委員から、法人の固定資産税や個人の保険税等の滞納への回収の働きかけは、との問いに、法人には督促、催告等を実施、個人には新型コロナの影響で減収になった場合は、保険税減免を案内しているとのこと。

市税課

市税課長から、市税の調定状況について、固定資産税は、納税通知書を4月4日に発送、軽自動車税の納税通知書を4月28日に発送している。市県民税の特別徴収分を5月17日、普通徴収分を6月1日に発送予定との報告がありました。

市民税係から、確定申告予約受付の結果について報告がありました。

委員から、市民から固定資産税の課税状況が理解できないとの相談を受けているが、市税課における相談の受付は、との問いに、納税通知書を窓口にお持ちいただければ説明しやすいが、納税通知書がない場合は本人確認をした上で内容の説明をしているとのこと。

企業の固定資産税の減免の内容は、との問いに、この制度は平成27年度から始まり、3か年の課税免除となり、平成27年度から令和3年度までの課税免除の件数は53件とのこと。

建設産業部

農林振興課

農林振興係から、有害鳥獣対策事業、防風保安林保全事業、利用間伐促進事業補助金、農家直売！軽トラ市、朝どりこがスイーツコーン祭の報告がありました。

農政係から、農業次世代人材投資事業、人・農地プランの実質化の報告がありました。

農林土木係から、農業用施設管理事業、農業基盤整備促進事業、防災力強化事業の報告がありました。

その他として、ひびきの里の閉店後の状況についてはコスモス広場利用組合から集客に影響する懸念があるとの申し入れがあり、当面の間は臨時的に来館者の休憩スペースとして開放し、庁内で今後の利用について検討しているとの報告がありました。

委員から、スイーツコーンが好評だが、作付面積や生産量は増えているのか、との問いに、作付面積や作付は昨年と同等の予定となっているとのこと。

コスモス館の駐車場は出入りが難しいので新たに別々の進入・退出口を作ってほしい。また大型観光バスの駐車スペースもとれるように改良を進めてほしい、との問いに、駐車場に関しては、古賀グリーンパーク周辺の観光・物産・情報発信拠点の一部としてのコスモス館を検討する中で、見直しを検討していくとのこと。

商工政策課

商業観光係から、消費生活センター、JR 古賀駅西口エリア活性化プロジェクトでは、活性化ビジョンの策定、古賀競成館高校生徒制作による商店街プロモーション動画、活動拠点整備に係る補助金申請状況、新事業創出促進補助金の報告がありました。

事業者支援係から、無料職業紹介所、ふるさと応援寄附、第 10 回古賀モノづくり博「食の祭典」の開催の報告がありました。

委員から、今年度から成年年齢が変わり 18 歳で有効な契約ができることにより、消費生活センターにおいて消費者としての教育や啓発ができないのか、との問いに、民法改正により成年年齢が 18 歳に引下げになり、契約トラブル等に巻き込まれないような啓発が必要と認識している。毎年 4 月に福岡女学院看護大学を訪問する中で、トラブルに巻き込まれないように啓発を行っているとのこと。

新事業創出促進補助金は、西口エリアだけに特定したものではなく、新たに支援補助金を使っでの参加者、出店者をより多く呼び込む意図があるのか、との問いに、対象は古賀市全域で業種の制限は設けていない。新分野進出事業補助金は、福岡県が経営革新計画を承認することが条件で、県の採択を受けた人に補助金を出すようになっている。市外から古賀市に来た場合の支援は、古賀市で新たに会社を起業するのであれば創業支援事業の補助金に該当するが、既に市外で店など営んでいる方が古賀市に来て開業する場合は対象外とのこと。

ふるさと納税自動販売機は 7 月末頃に設置予定とあるが、場所と台数、また返礼品は、との問いに、設置予定場所は古賀サービスエリアの上りに 1 台を検討している。返礼品は、古賀サービスエリア内にある古賀市産の物、県の共通返礼品として認められている明太子、もつ鍋などを中心に考えている。その他には、古賀サービスエリア内での飲食もサービスの提供になり、返礼品の対象として調整中とのこと。

都市整備課・古賀駅周辺開発推進室

都市計画係から、大内田地区地区計画、馬渡地区地区計画、釜田地区地区計画、古賀グリーン

パーク地区地区計画の進捗、入札結果の報告がありました。

開発指導係から、古賀市空家等対策計画（案）に関するパブリック・コメントの実施、ブロック塀等撤去費補助金の改正の報告がありました。

公園・緑地係から、入札結果について報告がありました。

委員から、市内公園遊具点検業務委託の点検の状況と対応は、との問いに、公園の点検は遊具だけでなく、フェンス、ベンチ等も点検の範囲に含め、毎年点検委託を行い、その結果を踏まえて、修繕、もしくは更新等の対応を行っている。令和3年度点検結果における1番悪いD判定のものは全て対応済みとのこと。

JR 古賀駅東口周辺地区整備ガイドライン等策定業務委託の中に記載があるワークショップの計画やメンバーの募集、また策定会議の予定は、との問いに、ワークショップは、現在最終調整中で、6月か7月ぐらいに1回目を計画しており、メンバーについては子育て世代、学生、高齢者など多様な方に参加いただきたいと考えている。策定会議は5月23日に開催予定とのこと。

建設課

土木係から、主要な事業の進捗状況について報告がありました。

西鉄宮地岳線跡地については、中川区とは整備案について合意をいただき、現在施工区間について協議中。花見南区では整備案を現在行政区内で協議中であり、行政区内で意見がまとまれば、整備案に反映させ、行政区と設計協議をしていきたいとの報告がありました。

地籍調査係から、地籍調査事業の進捗について報告がありました。

その他として、国土交通省九州地方整備局に、ハンプの設置前後の効果を検証していただいた。花見小学校前の道路は、ハンプ設置前は時速50キロメートル以上の車両があったが、設置後は時速50キロメートル以上の車両はなくなった。ハンプ設置区間は、平均速度が時速2.7キロメートル減少、時速30キロメートルを超えた車両が35.5%から21.6%に減少したとの報告がありました。

委員から、中川区は協議中ということだが、施工区間については、他の区と隣接するところもあることから、協議は十分できているのか、また工事のスケジュールは、との問いに、中川区と協議がまとまれば、7月か8月頃には発注したい。工事に着手する際は、工事内容を沿線の方へ説明や資料を示していくとのこと。

亀山整形外科医院から古賀西小学校方面に行く汐入花見線の道路状況が悪いと市民の要望があるが、補修の計画は、との問いに、マンホール周りが盛り上がっているとの報告も受けており、舗装を何年かでやっていく予定とのこと。

浜大塚線地下歩道は自転車に乗って通る人が多く、歩行者との接触が心配であるが対策は、との問いに、利用状況を見ながら対策を考えていくとのこと。

浜大塚線高架橋、花鶴側のジョイント部分の騒音対策は、との問いに、年内に工事を実施したいとのこと。

行政区からの信号機の新設や変更の要望書に対する回答は、との問いに、年度当初に交通安全施設の設置などの要望書をいただき、年度末に回答書の中で内容についての回答をしているとのこと。

上下水道課

総務・上水道管理係から、水道週間の取組、水に関するアンケートの報告がありました。

上水道係、下水道係から、令和4年度の工事箇所について報告がありました。

委員から、水に関するアンケートは、令和3年度に開催した水のイベントへの来場者420人分ということだが、サンプルを取る人数としては少ないのではないか、との問いに、アンケート結果を何かに利用することを考えるとご指摘の通りだと思ふとのこと。またアンケートでは水道水を直接飲みますかという問いに、直接飲まないという方が多く、理由の多くはカルキ臭い、何となく衛生的でないなどであったため、今後おいしく飲む方法についての説明や啓発などが必要と思っているとのこと。アンケートでは節水を意識して何か実行していることがあると回答した方が多く見られ、市民の節水意識も分析できたため、今後の有収水量想定への活用を検討していきたいとのこと。

以上、議会閉会中の所管事務調査の概要報告を終わります。